

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170700175		
法人名	医療法人天心堂		
事業所名	グループホームさくら荘		
所在地	佐賀県鹿島市大字中村2191番地2		
自己評価作成日	令和3年12月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和4年2月18日	外部評価確定日	令和4年4月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・理念にもあるように、利用者様とのふれあいを大切にし、いつも笑顔で生活して頂けるように支援している。昨今は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、ご家族の面会も制限している状況であったが、少しでも安心して頂けるよう、電話や、タブレット端末等を用いて日常の状況や健康面の事などについてこまめに報告し、家族との信頼関係も継続できるよう工夫している。また、これまでは家族様参加型の行事を継続的に行っていたが、新型コロナウイルス感染症の流行により開催が難しくなったため、利用者様の日々の生活状況の写真をアルバムにしてご家族へプレゼントする、ご家族に利用者様宛に手紙を書いて頂くなど、制限下においても利用者様と、ご家族の関係継続ができるよう力を入れている。 ・自立支援・重度化防止の観点からリハビリ専門職が定期的に来荘し、身体状況の評価、日常的に行える機能訓練についての介護職員へ指導する体制を構築している。 ・利用者の高齢化・介護の重度化に伴い、最期までさくら荘で過ごしたいと看取りの希望がある。その為、法人の医療スタッフとの連携をとり終の住処としての役割も担っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

母体法人の病院を中心に多数の施設の中の一画にさくら荘がある。玄関には大きな桜の木があり、利用者は花見の時には桜の木の下で弁当を食べる楽しみになっている。理念は、利用者や地域とのふれあいを大切にする事に変わりはない。そして、各階の事務所に掲げ、朝礼の際に唱和され、確実に守られケアに活かされている。「地域との関わりを大切に、常に笑顔の有る生活」を目指し、利用者と家族と職員のコミュニケーションは良く、落ち着いた暮らしが出来ている。また体力維持、重度化防止の為、月1回リハビリ専門家の訪問があり、希望者は指導を受けている。医療面、健康面も充実して安定した生活が出来る事業所である。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当事業所では、「地域に溶け込み、地域に根ざすグループホーム作り」を理念としている。毎日の朝礼で理念の唱和を行い、職員が常にその意識を忘れずサービス提供できるようにしている。	当事業所では、「地域に溶け込み、地域に根ざすグループホーム作り」を理念としている。毎日の朝礼で理念の唱和を行い、職員が常にその意識を忘れずサービス提供できるようにしている。	法人と事務所の理念がある。事務所の理念は、「ふれあいを大切に、常に笑顔で安らぎのある生活が出来るように」を目指し、毎日唱和し、各階の事務所に掲示されている。職員は確実に守り、支援に活かされている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、公民館掃除やクリーク清掃に参加。また、地域ボランティアの受け入れも積極的に行っている。しかし、現時点では新型コロナウイルス感染予防対策により行事の中止、地域ボランティアの受け入れも中止となっている。	自治会に加入し、公民館掃除やクリーク清掃に参加。また、地域ボランティアの受け入れも積極的に行っている。しかし、現時点では新型コロナウイルス感染予防対策により行事の中止、地域ボランティアの受け入れも中止となっている。	自治会に加入し、回覧板で町内の情報は得られている。これまでには地域の行事に参加したり、近くの商店に買い物に出て交流もあったが、現在は新型コロナウイルス感染の為出来ていない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地元小学校児童の課外授業に協力し、小さいうちから認知症高齢者と自然に触れ合うことができるような環境を提供している。しかし現時点では、新型コロナウイルス感染予防対策により行事が中止となっている。	地元小学校児童の課外授業に協力し、小さいうちから認知症高齢者と自然に触れ合うことができるような環境を提供している。しかし現時点では、新型コロナウイルス感染予防対策により行事が中止となっている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回実施している。会議では、入居者の状況や事業所の活動について報告している。現時点では新型コロナウイルス感染予防対策により集合会議は開催できず電話にて聞き取りを行い、書面にて報告している。	運営推進会議は2ヶ月に1回実施している。会議では、入居者の状況や事業所の活動について報告している。現時点では新型コロナウイルス感染予防対策により集合会議は開催できず電話にて聞き取りを行い、書面にて報告している。	新型コロナウイルス感染の為会議は出来ないで電話での聞き取りと事務所の報告を作成し、運営推進会議新聞を作成し行事の様子、日々の生活の様子の写真を運営推進委員会のメンバーや家族に郵送し、家族から喜ばれている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にも出席して頂き、事業所の現状を伝えていたが、現時点では新型コロナウイルス感染予防対策により集合会議を開催できない為、電話にて聞き取りや、意見を頂いている。会議録については、直接担当者へ手渡しし、その際に顔を合わせ話す機会を作っている。	運営推進会議にも出席して頂き、事業所の現状を伝えていたが、現時点では新型コロナウイルス感染予防対策により集合会議を開催できない為、電話にて聞き取りや、意見を頂いている。会議録については、直接担当者へ手渡しし、その際に顔を合わせ話す機会を作っている。	運営推進会議には行政の参加もあり、情報交換、空き情報、認知症の取り組み、求人等相談している。行政の研修にはウェブでの参加である。福祉避難所の指定になっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束、虐待の勉強会を実施し、拘束しないケアの方法を検討しながら日々取り組んでいる。	身体拘束、虐待の勉強会を実施し、拘束しないケアの方法を検討しながら日々取り組んでいる。	マニュアルを作成している。法人内や事業所での研修を受け、職員に報告され、拘束しない工夫に努め拘束の弊害は周知されている。玄関は夜間のみの施錠である。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内外の勉強会に参加し、虐待防止についての理解を深め、ケアを実践している。意識せずに行いがちな言葉の暴力については、特に注意するように日々職員への周知を行っている。	内外の勉強会に参加し、虐待防止についての理解を深め、ケアを実践している。意識せずに行いがちな言葉の暴力については、特に注意するように日々職員への周知を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間勉強会計画に組み込み、研修を実施するようにしている。	年間勉強会計画に組み込み、研修を実施するようにしている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に利用者さん・ご家族に現状の問題や不安な点の確認と説明をしている。解約理由としては死亡がほとんどであるが、病院への転院時などは十分主治医と共に話し合いを行っている。また料金改定時などは、改定内容を明記した文書を送付し、説明・同意を得ている。	契約時に利用者さん・ご家族に現状の問題や不安な点の確認と説明をしている。解約理由としては死亡がほとんどであるが、病院への転院時などは十分主治医と共に話し合いを行っている。また料金改定時などは、改定内容を明記した文書を送付し、説明・同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎年アンケートを実施し、結果と回答を公表している。頂いた要望や意見についてはカンファレンス等で話し合い、周知している。	毎年アンケートを実施し、結果と回答を公表している。頂いた要望や意見についてはカンファレンス等で話し合い、周知している。	意見箱は置いているが活用がない。アンケートには、「外に出して欲しい」、「活動させて欲しい」等の意見がある。利用料の支払いは家族が遠方の方は振込、それ以外の方は法人に持参し、その帰りに面会があったが、今は電話での相談が多く、その都度改善出来る事から対処している。2か月に1回運営推進会議新聞を発行し、家族に配布されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年1回、定期的なアンケートを実施している。	年1回、定期的なアンケートを実施している。	何でも言える関係である。職員間の人間関係等も良く聞いてもらえる。アンケート実施ではコミュニケーション不足やケアについて、勤務については、職員の希望や要望を取り入れ、月1回のカンファレンスの時に話し合い解決される。職員の異動はない。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を年2回実施し、個人面接を行いスキル評価を行っている。年度始めに部署・個人目標を立て、実践できるようにサポートしている。	人事考課を年2回実施し、個人面接を行いスキル評価を行っている。年度始めに部署・個人目標を立て、実践できるようにサポートしている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、部署勉強会・事業所勉強会を実施。参加状況に応じて加算される学習ポイント制度を導入。またeラーニングも取り入れ、各自が自分のペースで勉強できる環境になっている。	毎月、部署勉強会・事業所勉強会を実施。参加状況に応じて加算される学習ポイント制度を導入。またeラーニングも取り入れ、各自が自分のペースで勉強できる環境になっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	鹿島・太良・嬉野地区のグループホーム12施設で交流会を開催し、職員の勉強会を行っている。新型コロナウイルス感染対策により、入居者のレクリエーションは開催できていない。	鹿島・太良・嬉野地区のグループホーム12施設で交流会を開催し、職員の勉強会を行っている。新型コロナウイルス感染対策により、入居者のレクリエーションは開催できていない。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面会に行き、本人と話をし、要望や不安材料は何かを聞くようにしている。初回面談時の印象がのちの信頼関係構築に重要であると認識しており、対応に十分配慮しながら面談している。	入居前に面会に行き、本人と話をし、要望や不安材料は何かを聞くようにしている。初回面談時の印象がのちの信頼関係構築に重要であると認識しており、対応に十分配慮しながら面談している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族にも入居前に面談を行い、入居までの経緯や問題点を聞いて共感し、気持ちに寄り添えるよう努力している。利用者さんと同様、初回面談での印象は重要であるため、十分配慮しながら面談している。	ご家族にも入居前に面談を行い、入居までの経緯や問題点を聞いて共感し、気持ちに寄り添えるよう努力している。利用者さんと同様、初回面談での印象は重要であるため、十分配慮しながら面談している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の面談で、今必要なサービスを見極め、当事業所での対応が困難な場合は、本人・ご家族に説明・同意を得た上で、関係者と協議し、他サービスの紹介や調整を行うようにしている。	入居前の面談で、今必要なサービスを見極め、当事業所での対応が困難な場合は、本人・ご家族に説明・同意を得た上で、関係者と協議し、他サービスの紹介や調整を行うようにしている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者さんの「できる能力」を把握した上で、その能力に応じた作業と一緒にやっている。	入居者さんの「できる能力」を把握した上で、その能力に応じた作業と一緒にやっている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者さんからのご家族に対する要望などがあれば伝え、できるだけ希望が叶うような働きかけをしている。	入居者さんからのご家族に対する要望などがあれば伝え、できるだけ希望が叶うような働きかけをしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会はいつでも来て頂けるような雰囲気作りに努めている。新型コロナウイルス感染症予防対策の為、近隣の発生状況に応じた段階的な面会方法を設定し、状況に合わせて随時変更している。	面会はいつでも来て頂けるような雰囲気作りに努めている。新型コロナウイルス感染症予防対策の為、近隣の発生状況に応じた段階的な面会方法を設定し、状況に合わせて随時変更している。	以前は近くの店に買い物やバラ園に行ったり、面会も多かった。現在は窓越し、リモートでの面会である。携帯電話を使って連絡を取り合っている方もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中はなるべくホールで過ごしていただき、コミュニケーションの取次をしている。家事活動など一緒にしていただくような環境作りをしている。	日中はなるべくホールで過ごしていただき、コミュニケーションの取次をしている。家事活動など一緒にしていただくような環境作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院治療のための契約終了後も、ご家族の状況に応じ、面会に継続的に行き、衣類の回収、洗濯等を行っている。	入院治療のための契約終了後も、ご家族の状況に応じ、面会に継続的に行き、衣類の回収、洗濯等を行っている。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望を聞いて、対応可能なことは対応するようにしている。意思表示が困難な方に関しては、日頃の生活状況・ご家族からの聞き取りにより判断している。	本人の希望を聞いて、対応可能なことは対応するようにしている。意思表示が困難な方に関しては、日頃の生活状況・ご家族からの聞き取りにより判断している。	入浴時やレクリエーションの際にゆっくり会話ができる。意思疎通が出来ない方からは思わぬ表情や行動、つぶやき等から様子を汲み取り、寄り添い、気づきや思いは申し送りをを行い、ケアに反映されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、ご家族や担当ケアマネジャーに話を聞き、生活歴や家族関係などについて情報収集し、把握に努めている。ご家族との良好な関係作りに力を入れ、信頼関係が気付けた時点で本音などを聞き出している。	入居前に、ご家族や担当ケアマネジャーに話を聞き、生活歴や家族関係などについて情報収集し、把握に努めている。ご家族との良好な関係作りに力を入れ、信頼関係が気付けた時点で本音などを聞き出している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ユニット毎に職員を固定にし、顔なじみの関係作りに努め、個々の状態把握に努めている。またケースカンファレンスを月1回実施し、個々の状態を報告し共有している。	ユニット毎に職員を固定にし、顔なじみの関係作りに努め、個々の状態把握に努めている。またケースカンファレンスを月1回実施し、個々の状態を報告し共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月モニタリング行い、3ヶ月、6ヶ月ごとに多職種で話し合いプランの見直しを行っている。家族や本人に希望を伺うが、なかなか具体的な希望が出ず、日々の面会時や電話報告時に会話からくみ取り、希望があればプランに反映している。	毎月モニタリング行い、3ヶ月、6ヶ月ごとに多職種で話し合いプランの見直しを行っている。家族や本人に希望を伺うが、なかなか具体的な希望が出ず、日々の面会時や電話報告時に会話からくみ取り、希望があればプランに反映している。	担当制をとっている。介護計画は担当者の記録を基に話し合い、利用者に沿った計画を作成している。以前は毎月のモニタリングに家族も参加されていたが、現在は電話で意見、要望を確認している。期間中に変化が生じた際には、その都度介護計画を見直し、変更され家族にも報告されている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA（ 1F ） （事業所記入欄）	自己評価／ユニットB（ 2F ） （事業所記入欄）	外部評価 （評価機関記入欄）	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個々の経過記録を入力し、プランの実行確認も行っている。管理日誌には情報伝達や家族との関わりを入力し、共有している。	毎日個々の経過記録を入力し、プランの実行確認も行っている。管理日誌には情報伝達や家族との関わりを入力し、共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の意向や現状に応じて、適切なサービスが行われるよう、多職種で取り組んでいる。	本人・家族の意向や現状に応じて、適切なサービスが行われるよう、多職種で取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日頃からの地域ボランティア受け入れや、地域行事への参加を通して、顔見知りの関係を作るようにしているが、現時点では新型コロナウイルス感染症予防対策により実施できていない。	日頃からの地域ボランティア受け入れや、地域行事への参加を通して、顔見知りの関係を作るようにしているが、現時点新型コロナウイルス感染症予防対策により実施できていない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ほとんどの方が当法人のかかりつけである。病院併設ということで選ばれているところも大きい。密に連携をとることで医療面が安心していただくと家族様の意見がある。	ほとんどの方が当法人のかかりつけである。病院併設ということで選ばれているところも大きい。密に連携をとることで医療面が安心していただくと家族様の意見がある。	殆どが法人の医療機関での受診である。往診は2週間に1回、緊急時は法人で24時間対応され利用者、家族、職員の安心に繋がっている。歯科は訪問診療、他科の受診の際には職員が同行し、結果は家族に報告される。またリハビリ専門家が月1回健康維持の為来荘され、希望者はサービスを受けている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置している。2週間に1回の訪問診療と、1週間に1回外来看護師が状態確認のために来荘し、体調面の管理をしていただいている。また、体調不良時はその都度報告し、様子を観に来てもらっている。そのためにも情報をこまめに提供している。	看護職員を配置している。2週間に1回の訪問診療と、1週間に1回外来看護師が状態確認のために来荘し、体調面の管理をしていただいている。また、体調不良時はその都度報告し、様子を観に来てもらっている。そのためにも情報をこまめに提供している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、職員が付き添い、日頃の状況を説明している。毎日病院へ面会に行き、状態の確認を行っている。入院中の衣類洗濯もさくら荘で行っている。	入院時は、職員が付き添い、日頃の状況を説明している。毎日病院へ面会に行き、状態の確認を行っている。入院中の衣類洗濯もさくら荘で行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に家族にはACP、看取りケアについて説明し、希望を聞いている。その時期が来たら再度、家族、主治医、看護師、職員での話し合いの場を設け、看取りを希望された場合は連携をとりながら取り組んでいる。	入居時に家族にはACP、看取りケアについて説明し、希望を聞いている。その時期が来たら再度、家族、主治医、看護師、職員での話し合いの場を設け、看取りを希望された場合は連携をとりながら取り組んでいる。	指針に基づき入所の際に利用者、家族に説明されている。看取りの実績はある。終末時に家族の希望で法人の病院に転院する方もあるが、今後も希望があれば対応出来る体制である。日々の変化の際には関係者で話し合い、対応されている。家族の泊まりも可能である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを作成し実施している。急変時は「ハリーコール」を行い、医師、看護師などの職員が駆けつける体制になっている。	緊急時の対応マニュアルを作成し実施している。急変時は「ハリーコール」を行い、医師、看護師などの職員が駆けつける体制になっている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災避難訓練は消防署の協力により年2回実施し、それ以外に水害訓練も行っているが、現時点では新型コロナウイルス感染症予防対策の為、事業所内での実施となった。非常連絡網には地域の方の電話番号も記載して連絡が取れるようにしている。	火災避難訓練は消防署の協力により年2回実施し、それ以外に水害訓練も行っているが、現時点では新型コロナウイルス感染症予防対策の為、事業所内での実施となった。非常連絡網には地域の方の電話番号も記載して連絡が取れるようにしている。	災害に対するマニュアルを作成している。地元の消防団の指導で夜間を想定して年2回の訓練を実施し、利用者也参加し、また地域の参加もあり、誘導をお願いしている。緊急時は法人からの協力を得る事が出来る。夜間は1人なので2階の利用者の誘導については、対策が欲しい所である。備蓄の確保は出来ている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇・倫理の勉強会を実施し、言葉使いなどには十分注意している。月間目標にもあげて取り組んでいる。広報誌などに写真を使用する場合は承諾を得るようにしている。	接遇・倫理の勉強会を実施し、言葉使いなどには十分注意している。月間目標にもあげて取り組んでいる。広報誌などに写真を使用する場合は承諾を得るようにしている。	法人で月1回目標を決め、取り組み、その結果を報告しているが、目標達成が満足出来ない時は、継続される事もある。職員の言葉使いや気になる行動についてはお互いに注意しあって解決している。利用者とは時に佐賀弁を優しく使い上手く理解してもらい、コミュニケーション作りにも役立っている。個人情報の管理も職員は周知されている。接遇の研修も行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるような声かけを行い、利用者の意向を尊重するケアを行なっている。また、希望を言えない利用者にも必ず声掛けを行っている。	自己決定できるような声かけを行い、利用者の意向を尊重するケアを行なっている。また、希望を言えない利用者にも必ず声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴なども本人へ希望を聞いて、入りたくないと言われたら、日程を変更したりしている。また、散歩に行きたい等の要望があれば、その都度対応するようにしている。	入浴なども本人へ希望を聞いて、入りたくないと言われたら、日程を変更したりしている。また、散歩に行きたい等の要望があれば、その都度対応するようにしている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみには十分注意している。 行事などの時には化粧などもしている。	身だしなみには十分注意している。 行事などの時には化粧などもしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の介護度が重度化しているため一緒に食事作り等はできていない。 皿洗い等、できる部分をお願いして一緒に実施している。 おやつレクなどでは、それぞれの能力に応じてできる部分をしていただいている。	入居者の介護度が重度化しているため一緒に食事作り等はできていない。おやつレクなどでは、それぞれの能力に応じてできる部分をしていただいている。	食材は外注である。希望食、行事食も対応される。調理専門の職員がいる。料理はリフトで2階に運ばれる。職員は利用者を見守りしながら介助されている。おやつは利用者の能力に応じて手作りを楽しまれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量が少ない方に対しては管理栄養士等に相談して、補助食品の提供など行っている。水分が少ない方はコーヒー牛乳など好みの物を提供したり、汁物を多めに提供したりしている。	食事摂取量が少ない方に対しては管理栄養士等に相談して、補助食品の提供など行っている。水分が少ない方はコーヒー牛乳など好みの物を提供したり、汁物を多めに提供したりしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後行っている。歯磨きができない方にはガーゼで清拭したりしている。定期的に栄養サポート委員会のラウンドがあり、口腔内の状態確認や口腔ケアの指導が行われている。	毎食後行っている。歯磨きができない方にはガーゼで清拭したりしている。定期的に栄養サポート委員会のラウンドがあり、口腔内の状態確認や口腔ケアの指導が行われている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者さんの状態に応じてオムツの種類を検討し対応している。また排泄チェック表を活用しながら個人の排泄パターンを予測し、トイレへ誘導するようにしている。	利用者さんの状態に応じてオムツの種類を検討し対応している。また排泄チェック表を活用しながら個人の排泄パターンを予測し、トイレへ誘導するようにしている。	排泄パターンを使用し、言葉かけし、誘導している。夜間は見守りの中でポータブル使用の方もある。自立まではないが利用者から声を掛けられる事もある。おむつも利用者に合ったものを使用し、排便についても職員、看護師と相談し、薬を服用される方もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ホール内のできる運動を個別に行っている。また乳製品やココア等を摂取してもらうようにしている。排便チェック行い、便秘が続く場合は、医師の指示に基づき下剤を服用している。	ホール内のできる運動を個別に行っている。また乳製品やココア等を摂取してもらうようにしている。排便チェック行い、便秘が続く場合は、医師の指示に基づき下剤を服用している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週3回を目標に入浴していただいている。介護度の重度化に伴い、リフト浴を設置している。希望があれば対応したり体調に合わせて、日程を変更している。	週3回を目標に入浴していただいている。介護度の重度化に伴い、リフト浴を設置している。希望があれば対応したり体調に合わせて、日程を変更している。	週3回実施され、入浴剤や季節湯にも対応し、体調に合わせ足浴、清拭、シャワーの時もある。入浴困難の方は1階にリフト浴が設置されているので利用される。利用者も職員も安心、安全でゆっくり入浴を楽しまれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室での休息を希望される方以外はホールで過ごしたり、ソファで休んで頂いている。眠そうにされているときは、居室へ誘導している。	居室での休息を希望される方以外はホールで過ごしたり、ソファで休んで頂いている。眠そうにされているときは、居室へ誘導している。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の変更があった場合は、医師・看護師・薬剤師等からの説明を受けている。また、処方薬の説明書にも目を通し、注意事項など確認している。	内服薬の変更があった場合は、医師・看護師・薬剤師等からの説明を受けている。また、処方薬の説明書にも目を通し、注意事項など確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑の手入れや趣味を活かした活動の実施、好きな食べ物の提供を行っている。天気の良い日には敷地内の散歩を多く取り入れ、感染対策下で制限がある中でも気分転換が測れるよう工夫している。	畑の手入れや趣味を活かした活動の実施、好きな食べ物の提供を行っている。天気の良い日には敷地内の散歩を多く取り入れ、感染対策下で制限がある中でも気分転換が測れるよう工夫している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩に行きたいなどの要望があれば敷地内の庭園や、事業所の近隣まで出かけている。現在、新型コロナウイルス感染症予防対策の為、遠くへの外出支援は行えていない。	散歩に行きたいなどの要望があれば敷地内の庭園や、事業所の近隣まで出かけている。現在、新型コロナウイルス感染症予防対策の為、遠くへの外出支援は行えていない。	これまでには利用者全員で外出できた。玄関には大きな桜の木があり花見を兼ね外気浴と合わせ弁当を食べる楽しみがある。家族の協力、職員の送迎により帰宅される方もある。外出希望の際には敷地内を散歩されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望されている方はいらっしゃらない。	希望されている方はいらっしゃらない。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	タブレット端末を使ったオンライン面会等を実施している。	タブレット端末を使ったオンライン面会等を実施している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じれるよう花を飾ったり、クリスマスや正月など季節の飾り付けを行い、雰囲気作りをしている。居室は好みで飾ってもらっている。	季節感を感じれるよう花を飾ったり、クリスマスや正月など季節の飾り付けを行い、雰囲気作りをしている。居室は好みで飾ってもらっている。	掃除は職員がされる。廊下には障害物は見当たらなかった。リビングの一角に畳のスペースがあり、こたつの用意もされている。ソファ、テレビや雑誌、季節のひな壇も飾られ季節を感じる事が出来る。オリンピック観戦等見たいものにチャンネルを合わせる方もいる。トイレ、風呂等大きく分かり易く表示されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル・ソファ・畳などいくつかのエリアを設け、思い思いに過ごせるようにしている。	テーブル・ソファ・畳などいくつかのエリアを設け、思い思いに過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はベッドとタンスのみ備え付けており、他は使い慣れたものや、好みのものを持ってきてもらうようにしている。	居室はベッドとタンスのみ備え付けており、他は使い慣れたものや、好みのものを持ってきてもらうようにしている。	馴染みの品の持ち込みは自由である。夜具も持ち込み、ソファ、家族の写真、時計、服かけハンガー等もある。居室の配置は本人の希望により過ごしやすいようにされている。掃除も出来、整理整頓も出来ている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA(1F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫して いる	事業所内はバリアフリーとなっている。 トイレのドアには大きく「トイレ」と 表示するなど、入居者に理解しやす いよう工夫している。	事業所内はバリアフリーとなってい る。トイレのドアには大きく「トイレ」と 表示するなど、入居者に理解しやす いよう工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)

※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)			1. ほぼ全ての利用者が
		○	○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
		○	○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
		○	○	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない